

● 事業名

和歌山市・和歌山大学連携事業

まちかど土曜楽交

- 日時 2021年2月6日、2月13日 10:00～11:00
- 会場 オンライン配信
- 参加人数 9人
- 主催 和歌山市・和歌山大学地域連携推進協議会
- 共催 和歌山市、和歌山大学

● 概要

「まちかど土曜楽交（どようがっこう）」は、2011年に始まった、和歌山市・和歌山大学地域連携推進協定に基づき行う事業である。和歌山大学が有する人的資源及び知的資源を活用し「和歌山を学ぶ」を基調テーマに行う知的向上公開講座で、文化・学術のまちづくりに寄与することを目的としている。対象は小学校4年生～6年生で、「楽しく学ぶ」を基本に、1人で学習するのではなく、大学生や他校の友だち、モノや知識などまわりとの関わりを大切にしながら進める学習である。教科書は使わず、身近な生活や和歌山をテーマにしたオリジナルの教材を使って学習を進め、子どもたちの興味・関心を引き出す学びを目指している。講師を務めるのは、将来教師を目指す教育学部1～3年生を中心とした学生グループで、授業設計のプロセスや児童・生徒との交流について学ぶ場となっており、教育実践力の力量形成に役立っている。

2021年度当初、2回を1期として、年間2期（計4回）を実施する計画であった。第1期を12月5日・12日、第2期を1月9日・23日に開催する予定であったが、大阪府での医療非常事態宣言の発出に伴い、本学において学生の課外活動禁止が決まったため、第1期を1月9日・23日に延期。しかし、2021年1月に11都府県で緊急事態宣言が発出されたことや、県内の新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、いったんは今年度の土曜楽交中止を決めた。その後和歌山市と協議し、初めてオンラインで土曜楽交を開催。小学生は延べ9人参加し、学生8人が講師やアシスタントなどとして土曜楽交に関わった。

● 実施内容

■ 授業内容

開催日	内容	参加者数	学生参加者数
2月6日	和歌山の特産品で世界を救えーミカンせっけんを作ろうー	4人	5人
2月13日	静電気で遊ぼう／液体クロマトグラフィーに挑戦	5人	3人

初めてのオンライン開催のため、定員は対面時と同じ10人で募集し、5人の子どもたちから応募があった。学生たちは当初予定していた内容を変更したり、実験方法を工夫したりして授業準備を行った。教材は事前に子どもたちの自宅に送り、当日はオンライン会議ツール「ZOOM」を使って子どもたちの家と大学の教室をつなぎ授業を行った。



事前準備の様子



機材の確認をしながらリハーサル



緊張しながら進める学生 (2/6)



子どもたちに声を掛けながら一緒に作業 (2/6)



理科室から配信 (2/13)

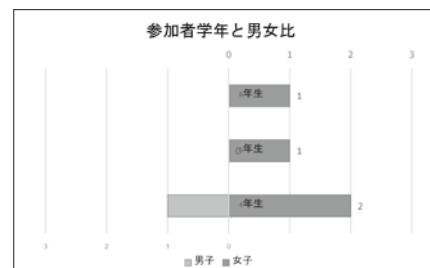
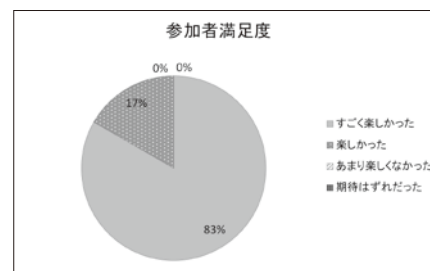


元気に返事をしてくれる子どもたちと一緒に実験 (2/13)

■参加者アンケートより

参加した子どもたちからは、オンラインでも好評で、「せっけんを作るだけじゃなく、せっけんのことも教えてもらったのが楽しかった」「土曜日は習事があり、なかなかイベントに参加できない中で初めてZOOMで参加できて楽しかった。置き場所のワークシートも楽しかったが、学んだことを書き込めるプリントがあってもいいかも」「楽しかったのでまた参加したい」「授業が終わった後も家でやったらもっと上手にできた」「テーマが難しそうだったけどうまくできてよかった」などの声が寄せられた。

一方学生からは「普段オンラインで授業を受けているが、授業する方の難しさがわかった」「授業の動画をアーカイブ配信すると、今回のようにリアルタイムで配信しながら授業をするのでは気を付ける点が異なり勉強になった」などの声があった。



事業に関するお問い合わせ

価値共創オフィス
(まちかど事業担当)

E-mail : machikado@ml.wakayama-u.ac.jp
URL : <https://www.wakayama-u.ac.jp/kii-plus/machikado/region-cooperation/wakayama-city/doyogakko/>

